未来に受け継がれるチェロサウンド！

Cello Ensemble

ヘンデル：シバの女王の入城
George Frideric Handel : Arrival of the Queen of Sheba
ファンク：組曲
David Funck : Suite
グリュッツマッハー：奉献聖歌
Friedrich Grützmacher : Consecration Hymn, Op.65
ピアソラ：ブエノスアイレスの四季より"冬"、リベルタンゴ
Astor Piazzolla : The Four Seasons, Winter, Libertango
ドローヌ：3本のチェロのためのアンダンテとスケルツォ
Max d' Ollone : Andante and Scherzo for three cellos
ダヴィドフ：賛歌
Karl Davidov : Hymne
グリーグ：ホルベルク組曲
Edvard Grieg : Holberg Suite

2026.11.30 Mon.

19:00開演
（18:30開場）

浜離宮朝日ホール

東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞 東京本社 ・新館2階

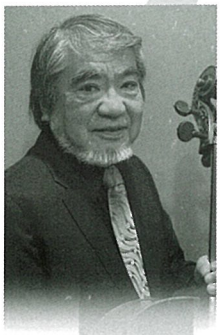
一般 ¥7,000　学生 ¥3,500［全席指定・税込］

※学生券は下記QRのみでの取り扱い。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。

【学生券】　【一般券】

※このQRコードでしか
取扱がありません。

朝日ホール・チケットセンター・・・・・・・・・ 03-3267-9990(日・祝除く10:00～18:00)
イープラス・・・・・・・・・



岩崎洸 Ko Iwasaki

日本音楽コンクール第一位、特賞。桐朋学園高校を経て、ジュリアード音楽院に留学。斉藤秀雄、レオナード・ローズ、ハーヴィー・シャピロ、パブロ・カザルスの各氏に師事。1965年ニューヨーク、カーネギーリサイタルホールでデビュー。その後、ウィーン、ミュンヘン、ブダペスト、カサド、チャイコフスキー等の国際チェロ・コンクールに上位入賞後、アンドレ・プレヴィンに認められ、ロンドン交響楽団と共演。1971年芸術選奨文部大臣新人賞、及び現代日本チェロ名曲体系により芸術祭レコード大賞を受賞。マルボロ、アスペン、ロッケンハウスを初めとして、各国の音楽祭に参加。近年は、ミュンヘン、チャイコフスキー、ヤニグロ、カサド等の国際チェロコンクールの審査員として招待されている。現在、アメリカに本拠を置きながら世界各地で演奏を続けるかたわら、並びに桐朋学園大学特認教授、大阪音楽大学客員教授として後進の指導も続けている。

Ryosuke Hori 堀了介

8歳より斎藤秀雄氏に師事。桐朋学園在籍中、第36回日本音楽コンクール第1位受賞。その後渡欧し、ウィーン・コンセルバトリウムを最優秀芸術賞を得て卒業、ジュネーヴにてP.フルニエに師事。
帰国後、NHK交響楽団に入団、首席奏者を務める。
国内主要オーケストラと共演するなどソロ活動の他、サイトウキネンオーケストラ・水戸室内管弦楽団のメンバーとしても活躍。室内楽では、ドゥガレイユ・カルテットのメンバーとしてヨーロッパ各地をまわる。
後年、弘中孝・久保陽子とトリオを結成する。
長きにわたり東京音楽大学にて後進の指導にあたり、北京・大連・瀋陽各音楽院にも招聘され、指導と公演を行った。国内数多くのコンクールの審査員も務めている。
東京音楽大学名誉教授。日本チェロ協会評議委員長。

Mari Fujiwara 藤原真理

©Atsuya Iwashita

大阪生まれ。
1959年桐朋学園「子供のための音楽教室」入学。以後15年間、日本を代表する指揮者、チェリスト、教育家である斎藤秀雄に師事。
71年第40回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位および大賞を受賞。75年芸術選奨文部大臣新人賞受賞。その後巨匠フルニエ、ロストロポーヴィチ両氏に師事し、78年第6回チャイコフスキー国際コンクール第2位を受賞。
以後リサイタル、世界トップ奏者との室内楽など、名実ともに日本を代表するチェリストとして国内外で活躍し、2024年に演奏活動45周年を迎えた。最新リリースであるJ.S.バッハ無伴奏チェロ組曲の新録音＜J.S. Bach 6 Suites a Violoncello solo senza Basso＞（ナクソス・ジャパン）はレコード芸術誌特選盤に選ばれるなど大好評を博す。

石川祐支 Yuji Ishikawa

©amigraphy

東京音楽大学へ特待生として進学し同大学を首席で卒業。
チェロを故松下修也、林良一、故星野明道、吉田顕、河野文昭、堀了介の各氏に師事。1999年第68回日本音楽コンクールで第1位を獲得、併せて黒柳賞も受賞。同年岩崎淑氏主催の音楽祭より奨学金を得てイタリアのキジアナ音楽院にてM・ブルネロ氏に学ぶ。これまで国内のオーケストラと共演し好評を博している。2003年から東京交響楽団首席チェリストに就任。2005年から札幌交響楽団首席チェリストに就任。2014年にはR・エリシュカ氏指揮、札幌交響楽団の定期演奏会で共演したドヴォルジャークのチェロ協奏曲のCDがリリースされる。2016年にはブラームスのチェロソナタ全2曲をリリース。

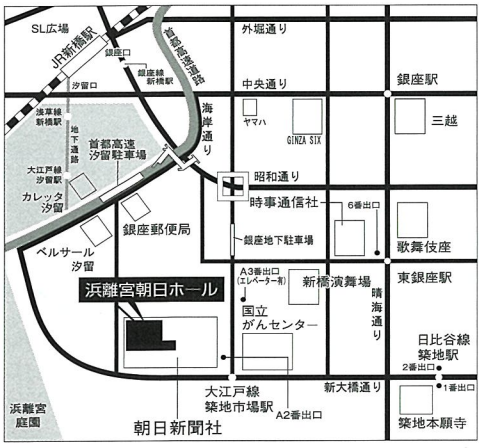
©平舘平

髙木慶太 Keita Takagi

6才よりチェロを始める。桐朋女子高等学校音楽科（共学）及び桐朋学園大学卒業。同大学院大学を経て'07年春ロームミュージックファンデーションの奨学金を得てベルリン芸術大学に留学。
第74回日本音楽コンクール・チェロ部門第2位入賞。ドイツ、ベルリンで開催されたドミニコ・ガブリエリチェロコンクールにて3位入賞。第106回日演連新人演奏会において札幌交響楽団と、大学院大学在学中に桐朋オーケストラ・アカデミーと共演。室内楽においては、クァルテットエクスプローチェ、東京チェロアンサンブル、古澤巌率いる品川カルテットのメンバーとして定期的にツアー、演奏会を行う。チェロを上原与四郎氏、毛利伯郎氏、岩崎洸氏、マルクス・ニコシュ氏に師事。
現在フリーランスとして活動し、ソロ活動や室内楽、国内の主要オーケストラの客演首席として多数出演。
桐朋学園大学音楽部非常勤講師。

Sayaka Hori 堀沙也香

7歳よりチェロを始める。松波恵子、岩崎洸両氏に師事。
東京音楽大学付属高等学校、同大学を卒業。在学中7年間、特待生奨学金を受ける。
その後、桐朋学園大学院大学にてさらに研鑽を積む。
NHK-FMリサイタル、毎日新聞主催小児ガン制圧チャリティーコンサート、JTが育てるアンサンブルシリーズ、山陽放送チャリティーコンサートをはじめ、数々の演奏会に出演。
倉敷音楽祭、沖縄国際音楽祭、イタリアに於けるシュラーン国際音楽祭、京都国際音楽学生フェスティバル、別府アルゲリッチ音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャパンなどにも参加している。
2011年より各年で父・堀了介と共に中国より招聘され、大連・瀋陽ほか各地で演奏会を開く。
これまでに、父とのデュオCD『花のワルツ』、『アヴェ・マリア』をリリース。
東京チェロアンサンブルメンバー。



ACCESS Guide 交通案内

浜離宮朝日ホール

〒104-8011　東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階　TEL：03-5541-8710

《電車》
- 「築地市場駅」都営大江戸線（A2出口）すぐ
- 「築地駅」東京メトロ日比谷線（1、2番出口）より徒歩約8分
- 「東銀座駅」東京メトロ日比谷線／都営浅草線（6番出口）より徒歩約8分
- 「汐留駅」都営大江戸線（新橋駅方面改札口）／新交通ゆりかもめ（改札口）より徒歩約10分
- 「新橋駅」JR（汐留口）／東京メトロ銀座線（1、2番出口）／都営浅草線（改札口）より徒歩約15分

《車》
- ホールに駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。